

平成27年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年1月7日
東

上場会社名 株式会社パスポート 上場取引所
 コード番号 7577 URL <http://www.passport.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 水野 純
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総合企画部長 (氏名) 久保田 勝美 (TEL) 03(3494)4497
 四半期報告書提出予定日 平成27年1月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第3四半期の業績(平成26年3月1日～平成26年11月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第3四半期	8,119	△12.9	△253	—	△312	—	△298	—
26年2月期第3四半期	9,322	△4.2	△81	—	△133	—	△125	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
27年2月期第3四半期	△59.01		—					
26年2月期第3四半期	△24.84		—					

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第3四半期	6,439	—	1,161	—	18.0	—
26年2月期	6,045	—	1,490	—	24.7	—

(参考) 自己資本 27年2月期第3四半期 1,161百万円 26年2月期 1,490百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	0.00	—	7.00	7.00
27年2月期	—	0.00	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年2月期の業績予想(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,600	△9.1	△10	—	△60	—	△130	—	△25.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

27年2月期3Q	5,270,000株	26年2月期	5,270,000株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

27年2月期3Q	218,981株	26年2月期	218,981株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

27年2月期3Q	5,051,019株	26年2月期3Q	5,051,019株
----------	------------	----------	------------

発行済株式数に関する注記

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続きは終了しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(3) 追加情報	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期財務諸表	6
(1) 四半期貸借対照表	6
(2) 四半期損益計算書	8
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による経済対策や日銀の金融緩和策等により、景気は緩やかな回復基調にありましたが、消費税増税後の個人消費は、円安による物価上昇もあって実質賃金が増えておらず、依然として消費の環境は不透明な状況が続いております。

雑貨業界におきましては、均一価格(¥100・¥300)ショップの増加や北欧雑貨ブームなどで競合が激化しており、アパレル専門店もライフスタイル提案として雑貨を導入する動きから、更に雑貨店として参入するなど新しいマーケットを創造する試みも拡大してきております。

このような経済環境のもと、当社では中期経営計画『CHALLENGE 5 0』の初年度にあたり、コアブランドである『Passport』ブランドの再生に向けて、オリジナルの新商品開発とインテリアライフ雑貨を核にした品揃え改革、『MDリフォーム』に取り組んでまいりました。直輸入品のPB(プライベートブランド)商品開発は、主に室内のインテリア装飾品とファブリックではぬいぐるみや室内着などを中心に行い、「かわいい生活」「やさしい生活」を始める提案をしております。またNB(ナショナルブランド)商品仕入では、そのデザインポリシーやMDコンセプトを守りつつ、マーケットのお客様に合った品揃えを各ブロック毎に拡充させて、プレゼントにも最適な幅広い品揃えを目指しております。当第3四半期累計期間では、このような考え方で品揃えと店作りを行なってまいりましたが、成果が顕著に現れている部門と、いまだ浸透していない部門があり、今後更に改善を進めてまいります。

店舗開発につきましては、これまで新規出店を抑制してまいりましたが、新ブランドでの出店の機会がありましたので、エイジレスで上質な雑貨を集めたブランド『t.j port』と、都市型ライフスタイルショップの『bao-bab.fleur』を11月に同時オープンさせました。この結果、直営店は2店舗の出店と9店舗の退店により、当第3四半期累計期末で152店舗となりました。また、フランチャイズ店は15店舗で変わらず、合計167店舗となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は8,119百万円(前年同四半期比12.9%減)、営業損失253百万円(前年同四半期は81百万円の営業損失)、経常損失312百万円(前年同四半期は133百万円の経常損失)、四半期純損失298百万円(前年同四半期は125百万円の四半期純損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第3四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べて394百万円(6.5%)増加し、6,439百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べて583百万円増加し、3,821百万円となりました。これは、主に受取手形及び売掛金が384百万円増加、商品が348百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べて189百万円減少し、2,618百万円となりました。これは、主に有形固定資産が92百万円減少し、敷金及び保証金が77百万円減少したことによるものであります。

②負債

当第3四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末に比べて724百万円(15.9%)増加し、5,278百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末と比べて739百万円増加し、3,611百万円となりました。これは、主に支払手形及び買掛金が46百万円減少、1年内償還予定の社債が70百万円増加、1年内返済予定の長期借入金が27百万円増加、短期借入金が625百万円増加したことによるものであります。

固定負債は、前事業年度末と比べて15百万円減少し、1,667百万円となりました。これは、主にリース債務が49百万円減少、社債が55百万円減少、長期借入金が120百万円増加したことによるものであります。

③純資産

当第3四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ329百万円(22.1%)減少し、1,161百万円となりました。

これは、主に四半期純損失を298百万円計上したことに加え、配当による減少が35百万円あったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成26年9月1日に発表いたしました「業績予想の修正及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」の記載から変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性がありますことをご了承願います。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(3) 追加情報

当第3四半期累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年11月30日)
<p>(遵守事項)</p> <p>当社は、短期借入金のうち、動産担保融資契約に基づく700,000千円には遵守事項があり、その内容は次のとおりであります。これらの条項に抵触した場合、当該債務の一括返済を求められる可能性があります。</p> <p>(1) 各事業年度末時点での貸借対照表における純資産額を平成21年2月期決算期末時点の金額の75%以上(761,568千円以上)に維持すること。</p> <p>(2) 各事業年度末時点での貸借対照表における棚卸資産の回転月数を2.0ヶ月以下に維持すること。</p> <p>(3) 各事業年度末時点での経常利益について、2期連続でマイナスとしないこと。</p>

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期会計期間 (平成26年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,008,673	789,044
受取手形及び売掛金	396,969	781,876
商品	1,577,985	1,926,714
未着商品	6,888	56,943
その他	246,896	266,626
流動資産合計	3,237,414	3,821,205
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	531,153	488,773
工具、器具及び備品(純額)	199,276	149,523
その他	15,554	15,554
有形固定資産合計	745,983	653,851
無形固定資産	192,283	160,604
投資その他の資産		
破産更生債権等	14,315	6,399
敷金及び保証金	1,641,833	1,564,263
その他	226,702	239,811
貸倒引当金	△13,523	△6,399
投資その他の資産合計	1,869,327	1,804,074
固定資産合計	2,807,595	2,618,530
資産合計	6,045,009	6,439,735
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,490,477	1,443,648
1年内償還予定の社債	370,000	440,000
短期借入金	354,980	980,000
1年内返済予定の長期借入金	94,600	121,850
リース債務	84,266	70,612
未払法人税等	24,389	23,955
賞与引当金	44,920	42,620
その他	407,731	488,593
流動負債合計	2,871,365	3,611,280
固定負債		
社債	865,000	810,000
長期借入金	160,700	281,000
リース債務	129,720	80,302
退職給付引当金	254,096	258,241
資産除去債務	163,094	161,975
その他	110,579	75,873
固定負債合計	1,683,190	1,667,393
負債合計	4,554,555	5,278,673

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期会計期間 (平成26年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	369,266	369,266
資本剰余金	292,300	292,300
利益剰余金	883,233	549,836
自己株式	△60,552	△60,552
株主資本合計	1,484,247	1,150,850
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	6,206	10,211
評価・換算差額等合計	6,206	10,211
純資産合計	1,490,453	1,161,062
負債純資産合計	6,045,009	6,439,735

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

	(単位：千円)	
	前第3四半期累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)
売上高	9,322,992	8,119,183
売上原価	4,635,869	4,014,948
売上総利益	4,687,123	4,104,234
販売費及び一般管理費	4,768,463	4,357,259
営業損失(△)	△81,339	△253,024
営業外収益		
受取利息	162	129
受取配当金	211	238
破損商品等弁償金	286	129
保険配当金	134	2,307
雑収入	1,283	3,032
営業外収益合計	2,077	5,838
営業外費用		
支払利息	20,710	22,595
社債発行費	11,128	7,680
支払手数料	9,696	8,405
為替差損	12,378	26,833
雑損失	532	121
営業外費用合計	54,447	65,635
経常損失(△)	△133,710	△312,821
特別損失		
固定資産除却損	13,867	568
店舗閉鎖損失	15,815	22,653
減損損失	—	20,060
特別損失合計	29,682	43,282
税引前四半期純損失(△)	△163,392	△356,104
法人税、住民税及び事業税	22,200	21,600
法人税等調整額	△60,113	△79,664
法人税等合計	△37,913	△58,064
四半期純損失(△)	△125,478	△298,039

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、インテリア雑貨販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。